F SPORT PARTS

MS342－48002/3/4
リヤウィング

取付・取扱要領書

この度はF SPORT PARTSリヤウィングをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取り付け、取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取り付け前に必ずお読みのうえ、正しい取り付け、取り扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★ 本商品は未登録車への取り付けは出来ません、取り付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品　番	塗装色	適合車種	備 考
MS342-48002-A0	ﾎﾜｲﾄﾉｰｳﾞｧｶﾞﾗｽﾌﾚｰｸ(083)	RX　'22.10～	
MS342-48002-C0	ｸﾞﾗﾌｧｲﾄﾌﾞﾗｯｸｶﾞﾗｽﾌﾚｰｸ(223)		
MS342-48003-NP	未塗装品		
MS342-48004	ﾌﾞﾗｯｸｴﾃﾞｨｼｮﾝ(212)		

・最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。https://www.trdparts.jp/

■ 構成部品

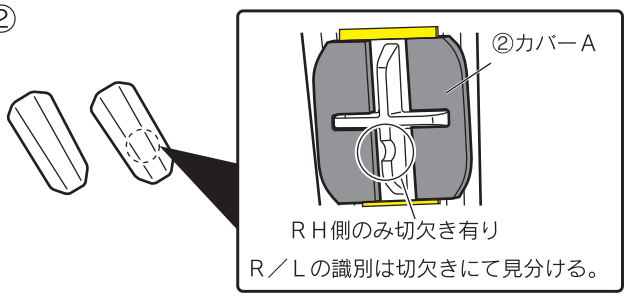
No.	部 品 名	数 量	備 考
①	リヤウィング	1	
②	カバーA　R／L	各1	
③	カバーB　R／L	各1	
④	カバーC　R／L	各1	
⑤	クッション	4	
⑥	クリップ	2	
⑦	グロメット	4	
⑧	タッピングスクリュー	4	
⑨	パックプライマー	1	N210NT
⑩	型紙	1	

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

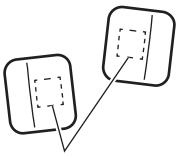
■ 構成部品図

①

②

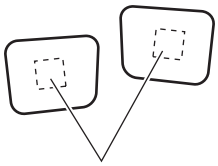


③



R／Lの識別は内側の刻印にて見分ける。

④



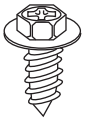
R／Lの識別は内側の刻印にて見分ける。

⑤

⑥

⑦

⑧



⑨

⑩

取付上のご注意（取付作業者の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。

⚠警告	この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。
⚠注意	注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。
アドバイス	スピーディに安全な作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⃠ やってはいけないこと　　❗ 必ず行なっていただくこと

⚠警告

⃠ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。

❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。

❗ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠注意

❗ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。

❗ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、記載以外の溶剤は絶対に使用しないでください。

❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。

❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。

❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足らないと両面テープが剥がれます。

❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足らないと両面テープが剥がれます。

⃠ 本商品の取り付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。

❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。

❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので70℃以下で乾燥させてください。

取り付けが終わったら

❗ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。

❗ 作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■ 目次

１.表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図・・・・・・・・・・・・・・・・・１～２
２.取付上のご注意（取付作業者の方へ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
３.目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図・・・４
４.取付準備、取付要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５～13
５.取付完了後の点検・注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
６.未塗装品の取扱いについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14

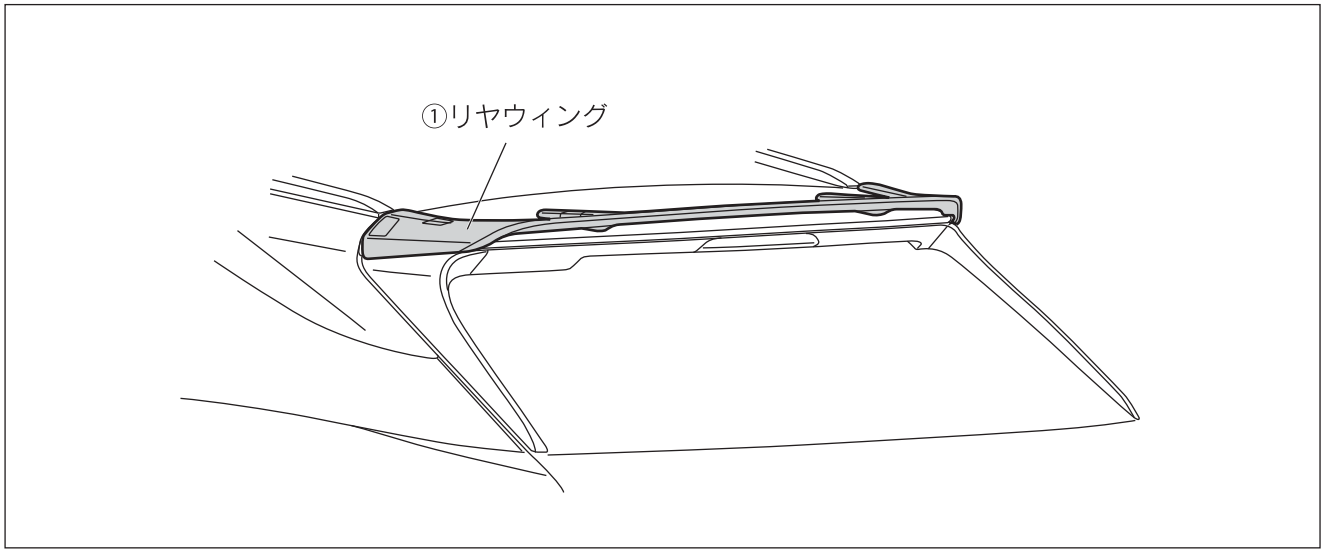
■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

・一般工具
・ケガキ針・ヤスリ・保護メガネ
・電動ドリル（刃：３．０mm/７．０mm/１０．０mm）
・軍手・保護シート・保護テープ
・イソプロピルアルコール（ＩＰＡ）・清潔なウエス

■ 保証について

本商品は、３年・６０,０００Ｋmの保証を実施致します。
（３年または６０,０００Ｋm走行時点のいずれか早い方まで）
※保証の詳細はＴＲＤパーツカタログサイト<https://www.trdparts.jp/>
「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図



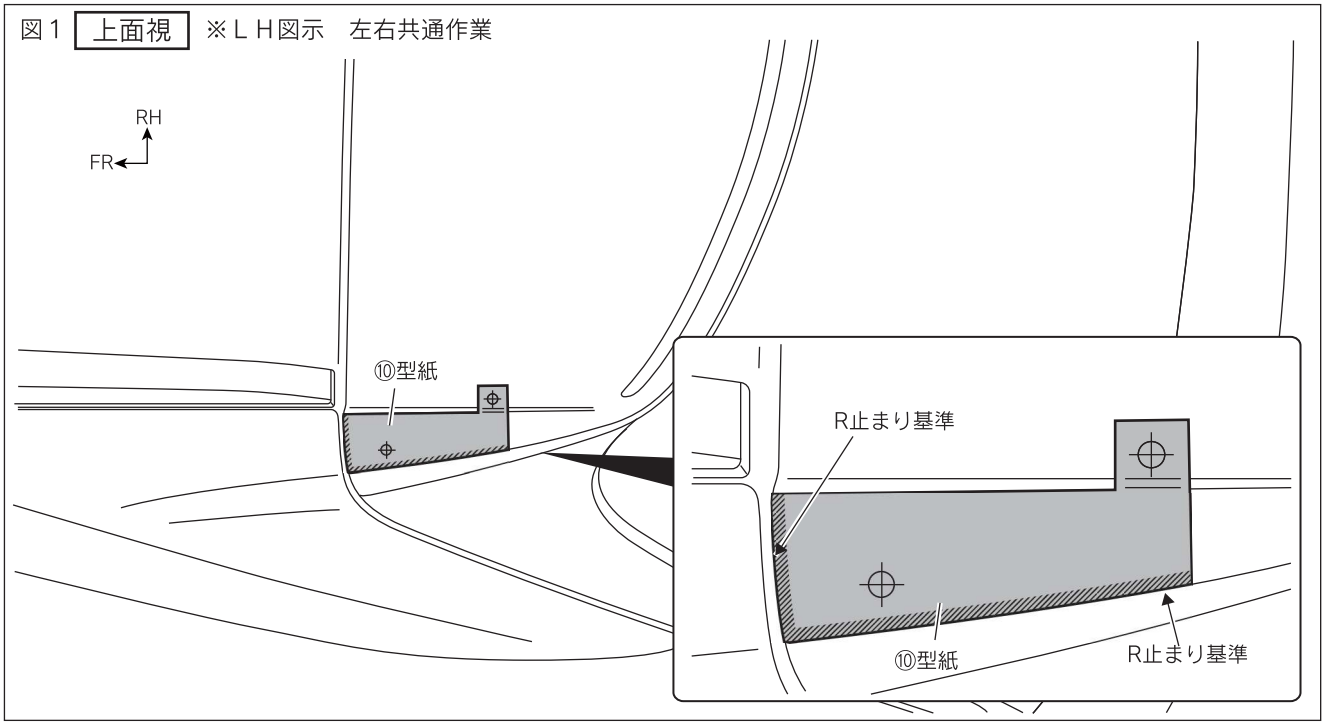
■ 取付準備、取付要領

※本取付・取扱要領書は、主にＬＨ側を示しており、ＲＨ側も同様に行ってください。

□リヤウィング取付準備

1．図１のように⑩型紙を車両リヤスポイラー側面から上面にかけて貼り付ける。（左右各１箇所）

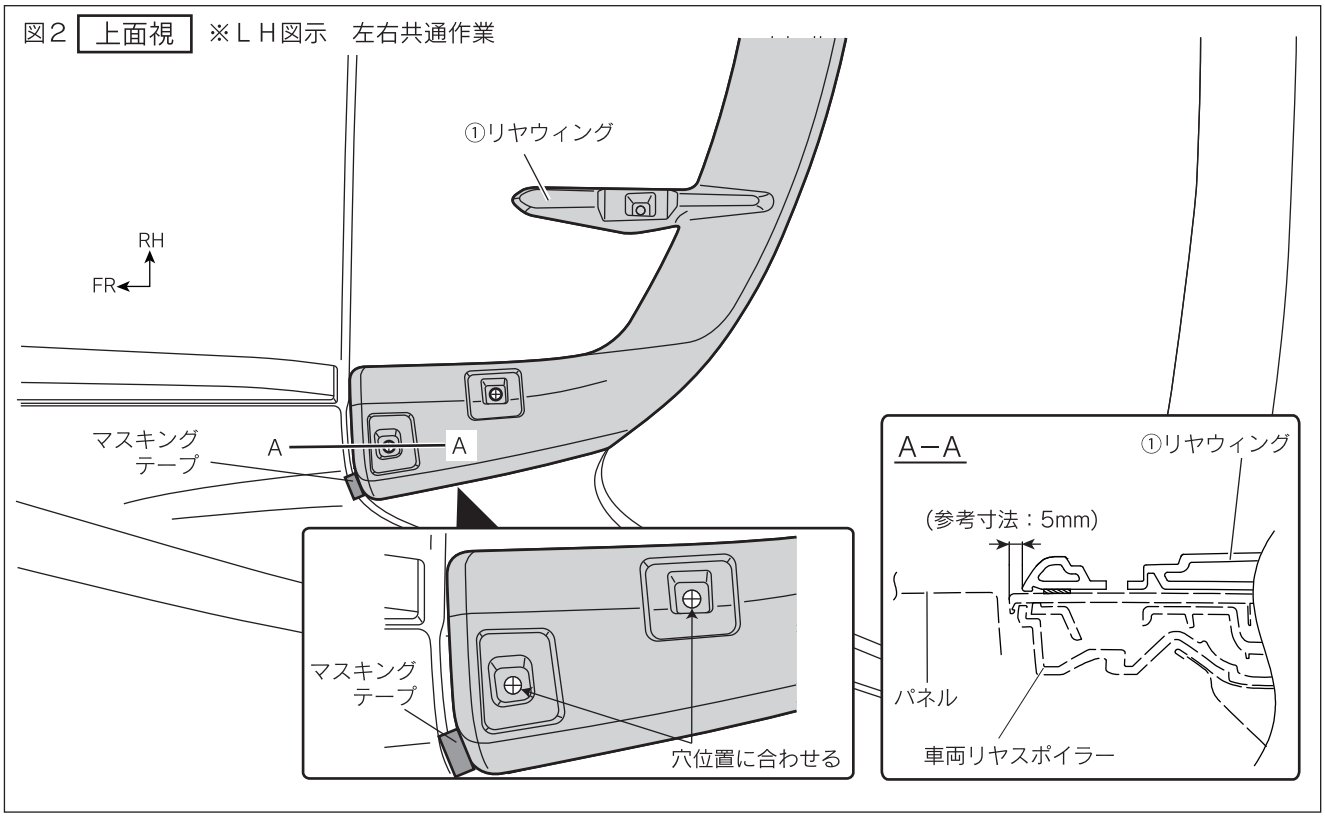
図１ 上面視 ※ＬＨ図示　左右共通作業



2．図２のように車両へ貼り付けた⑩型紙に①リヤウィングを合わせて位置を出し、前後位置が左右対称か確認する。対称でなければ⑩型紙が正規位置に貼られていないため貼り直しを行う。（左右各１箇所）

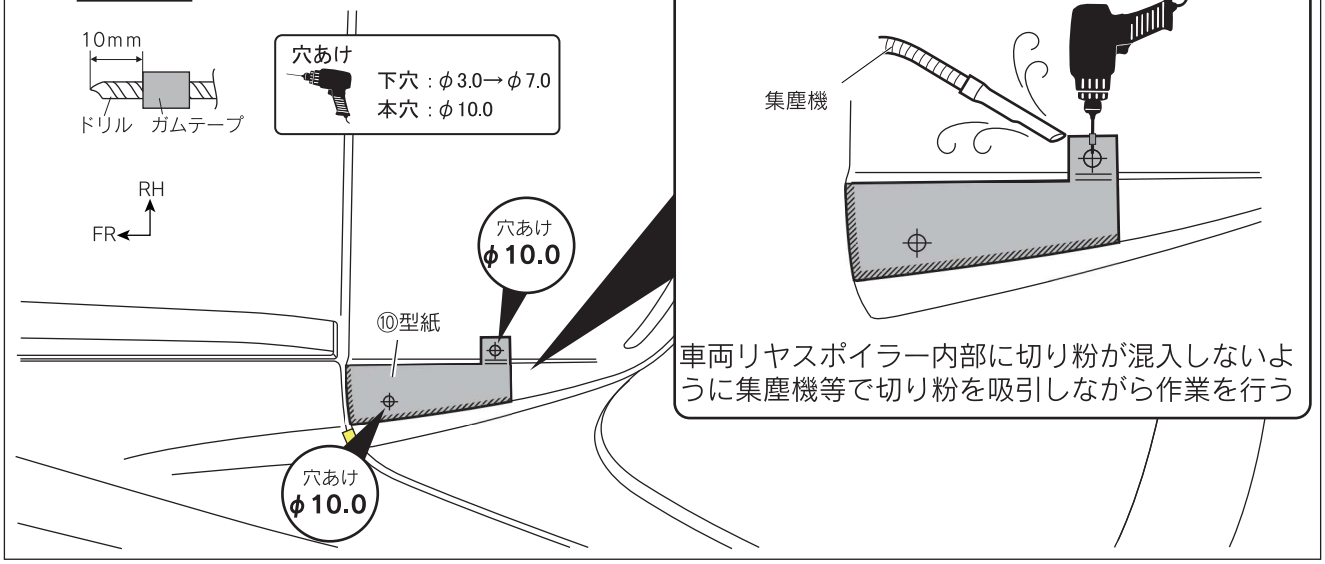
3．図２のように①リヤウィング位置の目印になるように、端部にマスキングテープを貼り付ける。（左右各１箇所）

図２ 上面視 ※ＬＨ図示　左右共通作業



4．図３のように車両リヤスポイラー側面から上面の⑩型紙の穴あけ位置に合わせて穴をあける。
・下穴φ3.0→φ７.0、本穴φ10.0　（左右各２箇所）

図３ 上面視 ※ＬＨ図示　左右共通作業



⚠注意：作業時は保護メガネを着用してください。

⚠注意：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

⚠注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくならないように注意してヤスリ等で取り除いてください。

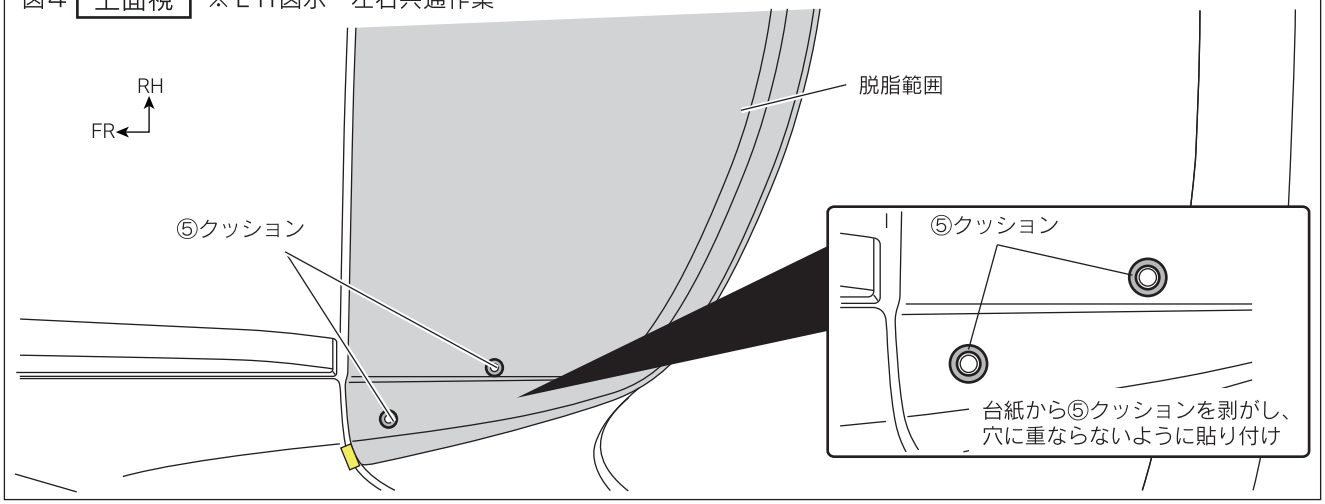
アドバイス　穴あけ加工時、車両リヤスポイラー内部に切り粉が混入しないように集塵機等で切り粉を吸引しながら作業を行ってください。

5．⑩型紙を剥がし、加工穴周囲のバリを除去する。（左右各２箇所）

6．図４のように車両リヤスポイラー上面全体の汚れを取除き、イソプロピルアルコール（ＩＰＡ）で一方方向に拭いて脱脂する。

7．車両リヤスポイラー上面のφ10.0加工穴に合わせて⑤クッションを貼り付けます。（左右各２箇所）

図４ 上面視 ※ＬＨ図示　左右共通作業

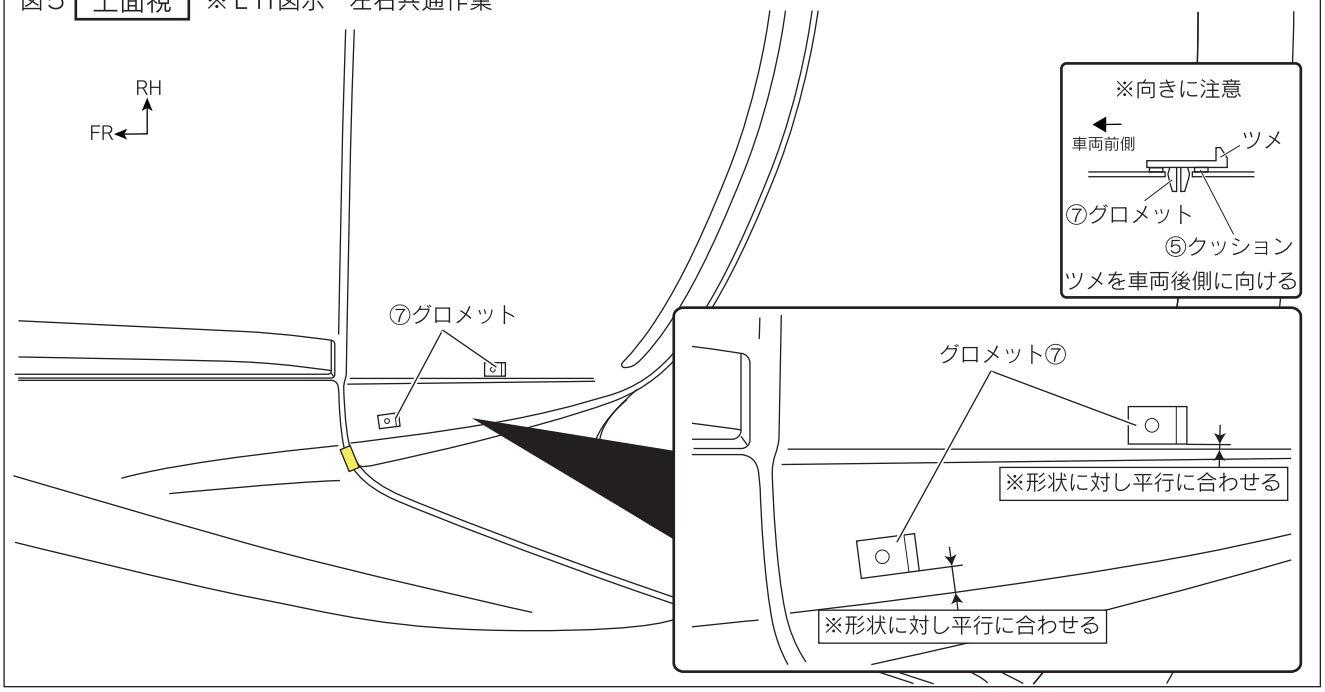


⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

アドバイス　脱脂後は、10 分程度乾燥させてください。

8．図５のように車両リヤスポイラー上面のφ10.0加工穴に合わせて⑤クッションの上から⑦グロメットを取り付ける。（左右各２箇所）

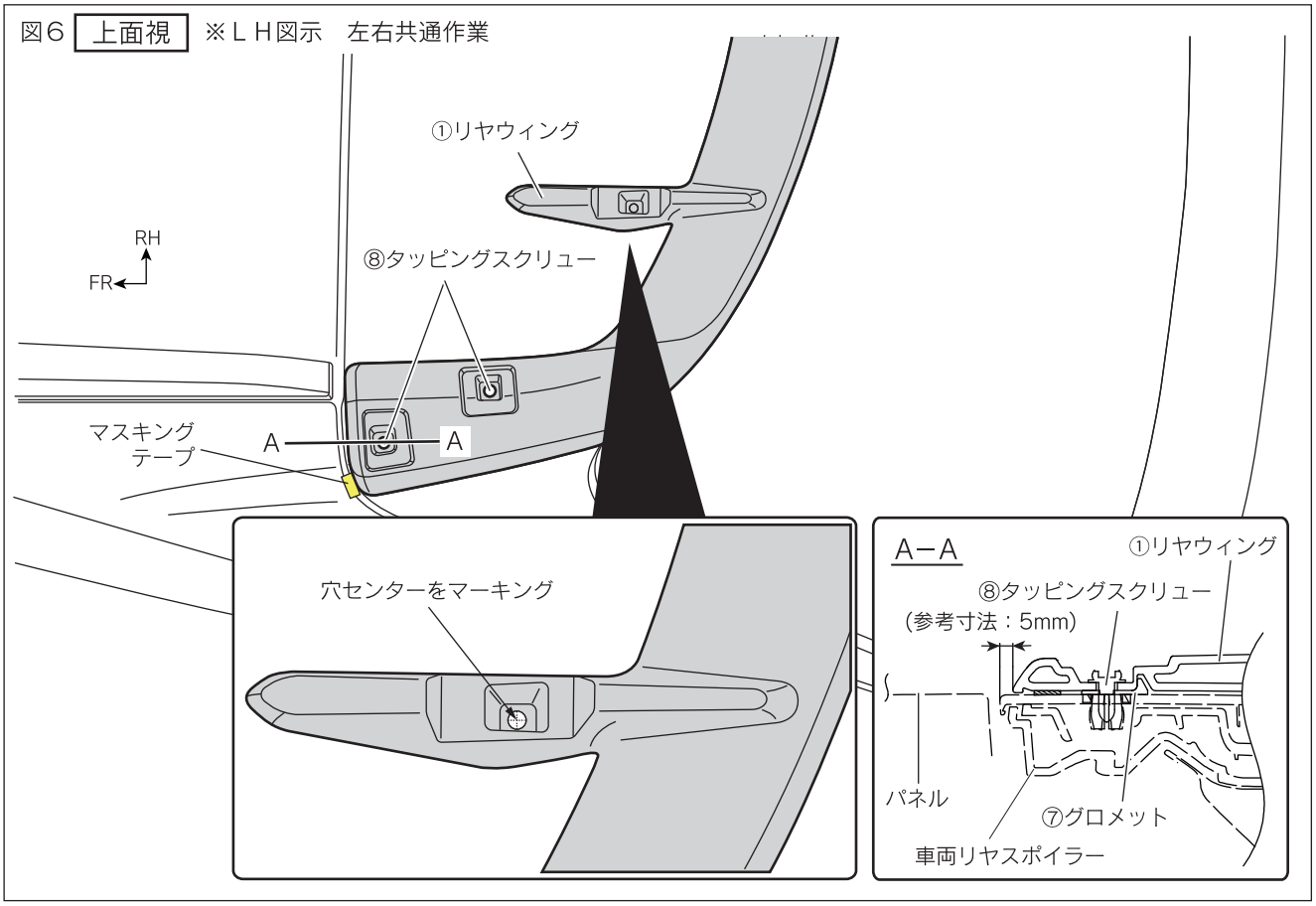
図５ 上面視 ※ＬＨ図示　左右共通作業



9．図６のように車両に貼り付けたマスキングテープに①リヤウィングを合わせて位置を出し、⑧タッピングスクリューで仮固定する。（左右各２箇所）

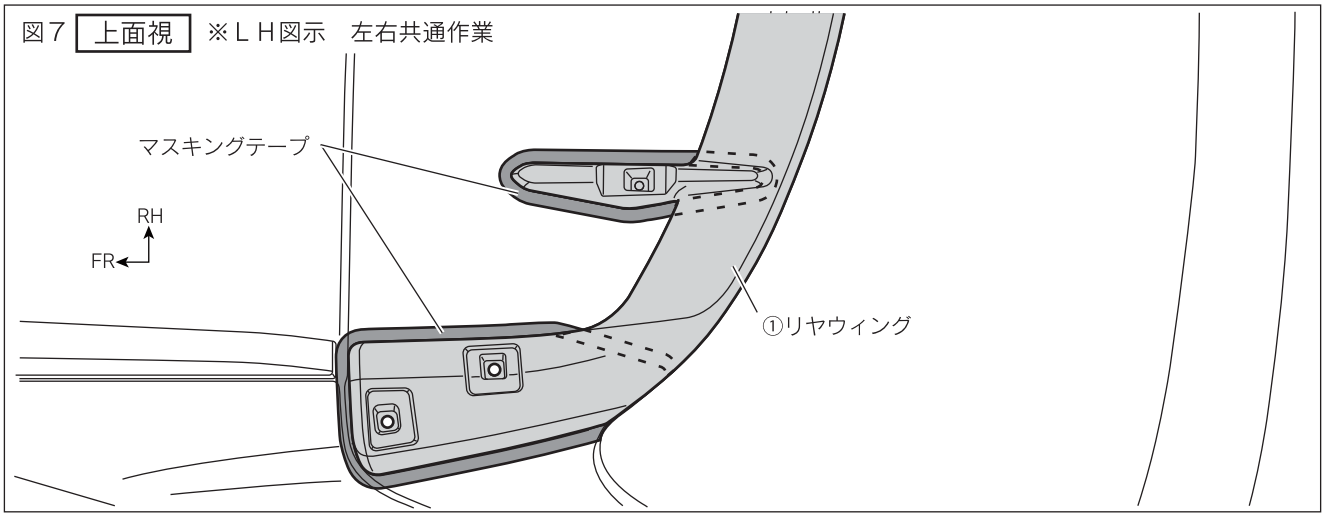
10．図６のように車両リヤスポイラー上面センター側の穴センターにケガキ針等でマーキングする。（左右各１箇所）

図６ 上面視 ※ＬＨ図示　左右共通作業



11. 図７のように①リヤウィングの端末に合わせて車両にマスキングテープを貼り付けます。

図７ 上面視 ※ＬＨ図示　左右共通作業



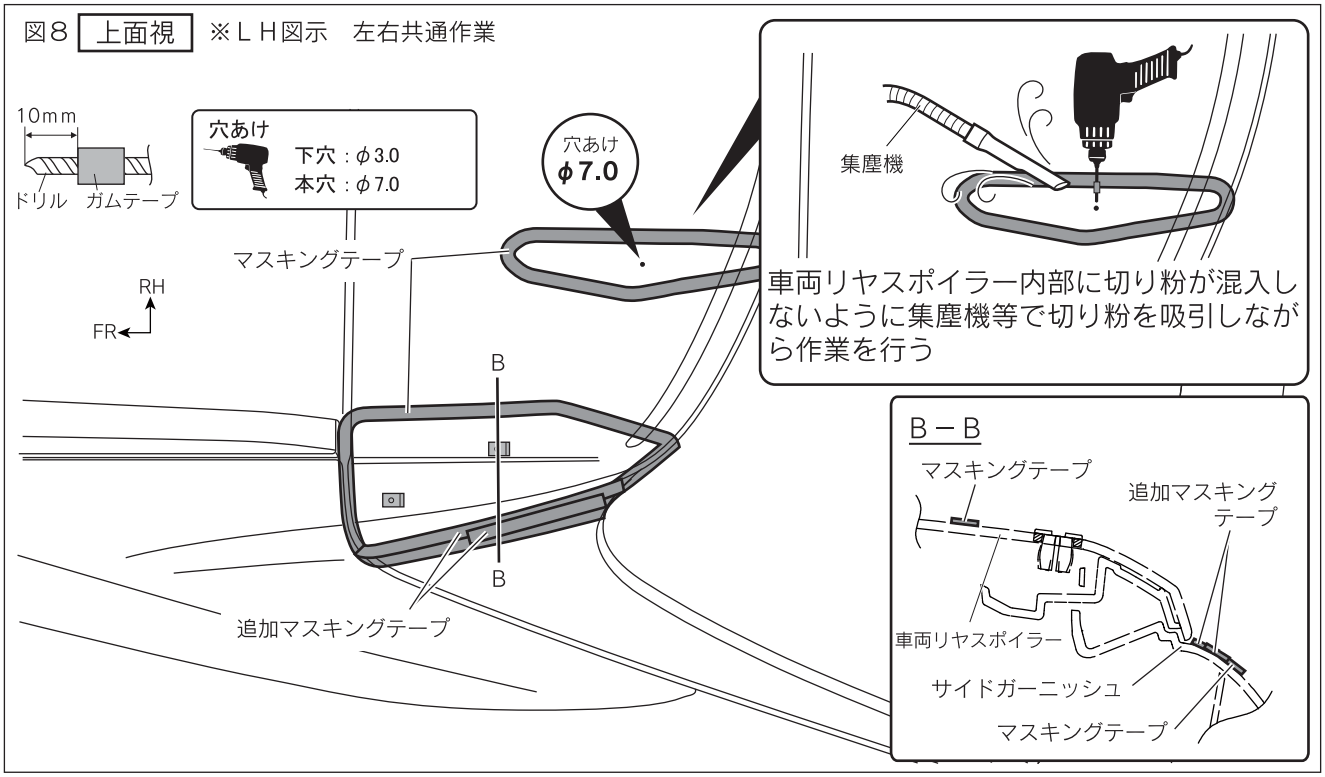
⚠注意: ＰＡＣプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行ってください。

12. ①リヤウィング、⑧タッピングスクリューを取り外す。

13. 図８のように車両リヤスポイラーのサイドガーニッシュへのプライマー付着を防ぐ為に追加でマスキングテープを貼り付ける。（左右各１箇所）

14. 図８のように車両リヤスポイラー上面センター側の穴センターのマーキングに合わせて穴をあけ、穴周囲のバリを除去する。　・下穴φ3.0、本穴φ7.0　（左右各１箇所）

図８ 上面視 ※ＬＨ図示　左右共通作業



⚠注意：作業時は保護メガネを着用してください。

⚠注意：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

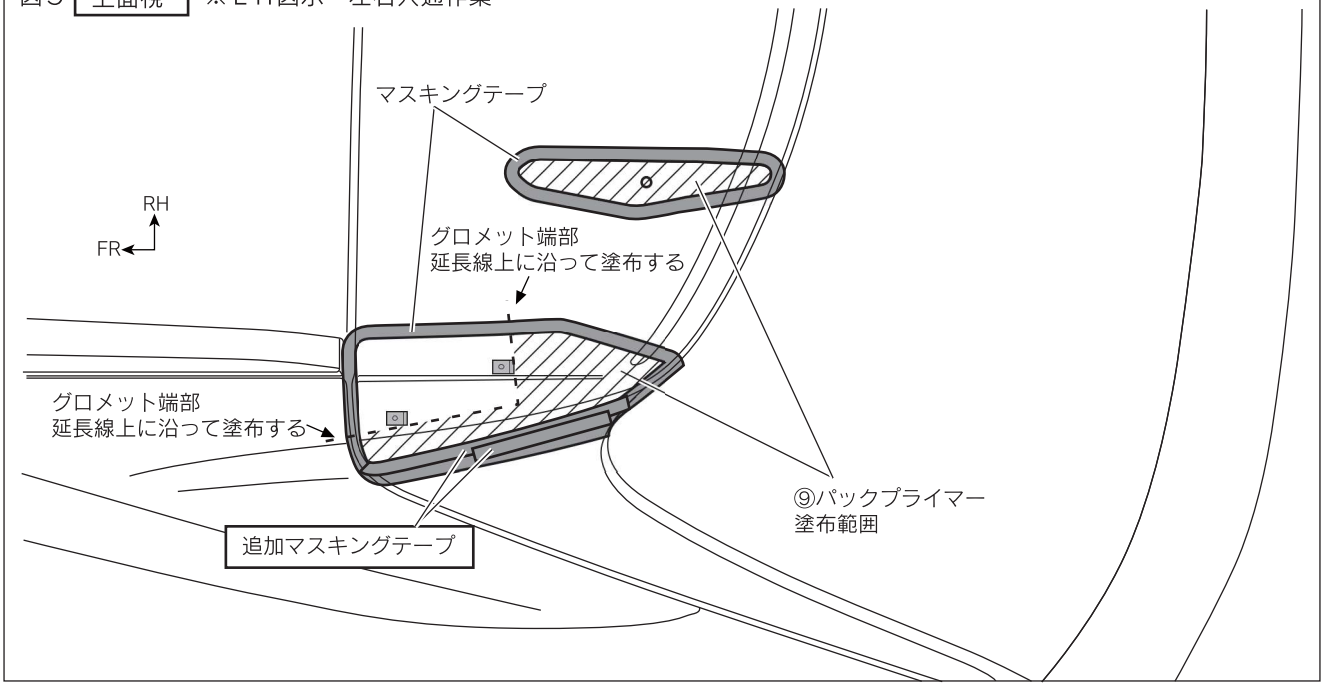
⚠注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくならないように注意してヤスリ等で取り除いてください。

アドバイス　穴あけ加工時、車両リヤスポイラー内部に切り粉が混入しないように集塵機等で切り粉を吸引しながら作業を行ってください。

15. 図９のように①リヤウィングの両面テープ貼り付け部（下図斜線部）に⑨パックプライマーを塗布する。

16. ⑨パックプライマー塗布後、追加マスキングテープのみ剥がす。

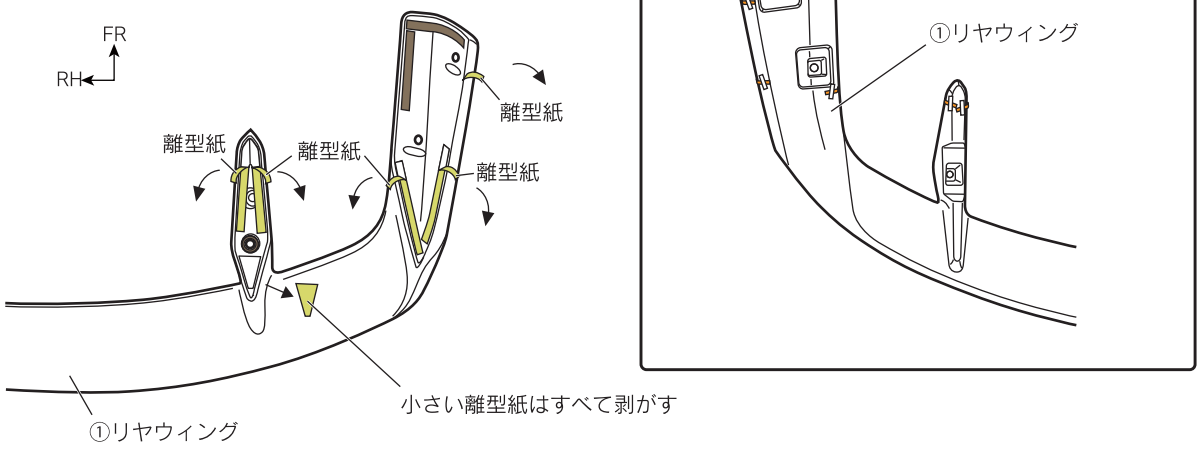
図９ 上面視 ※ＬＨ図示　左右共通作業



⚠注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール（ＩＰＡ）で拭き取ってください。付着していると、変色する事がありますので注意してください。

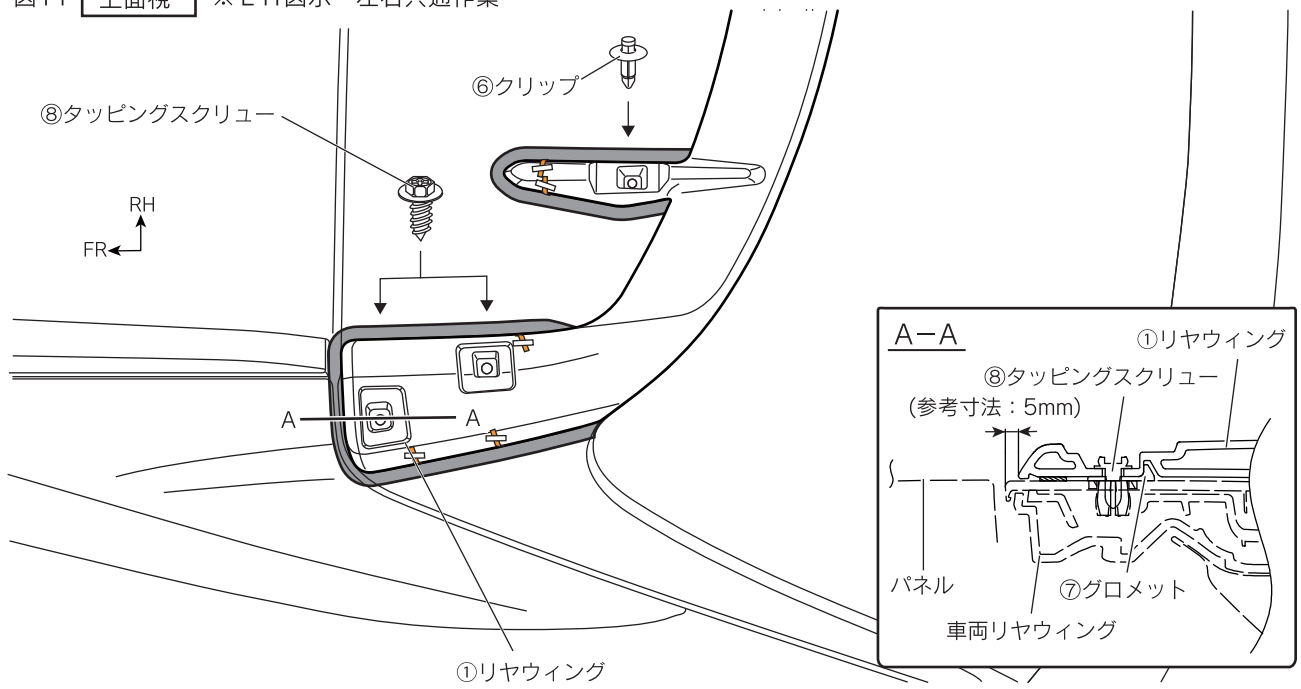
17. 図10のように①リヤウィングの両面テープの離型紙を矢印方向に約３０～５０mm剥がしてマスキングテープ等で表側に貼り付ける。（左右各５箇所）

図10 裏面視 ※ＬＨ図示　左右共通作業



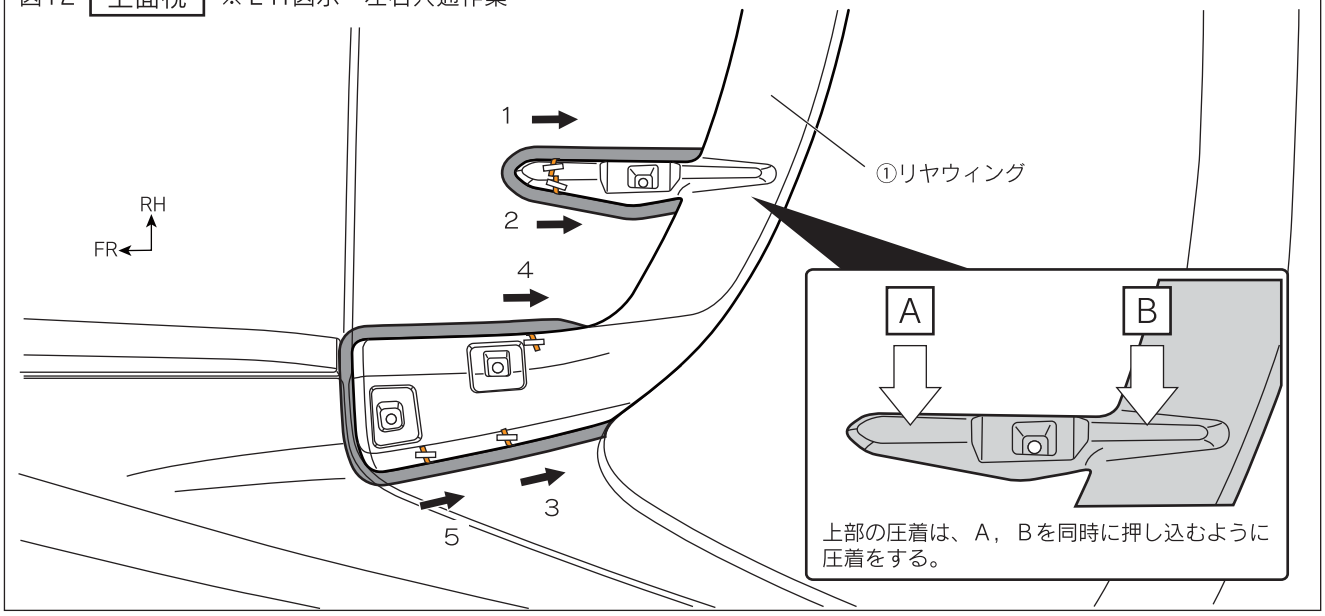
18. 図11のように①リヤウィングをマスキングテープの位置に合わせて、⑥クリップで固定する。（中央側左右各１箇所）
19. 図11のように①リヤウィングをマスキングテープの位置に合わせて、⑧タッピングスクリューで仮固定する。（左右各２箇所）

図11　上面視　※ＬＨ図示　左右共通作業



20. 図12のように取付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼り付け圧着する。（左右各５箇所）

図12　上面視　※ＬＨ図示　左右共通作業



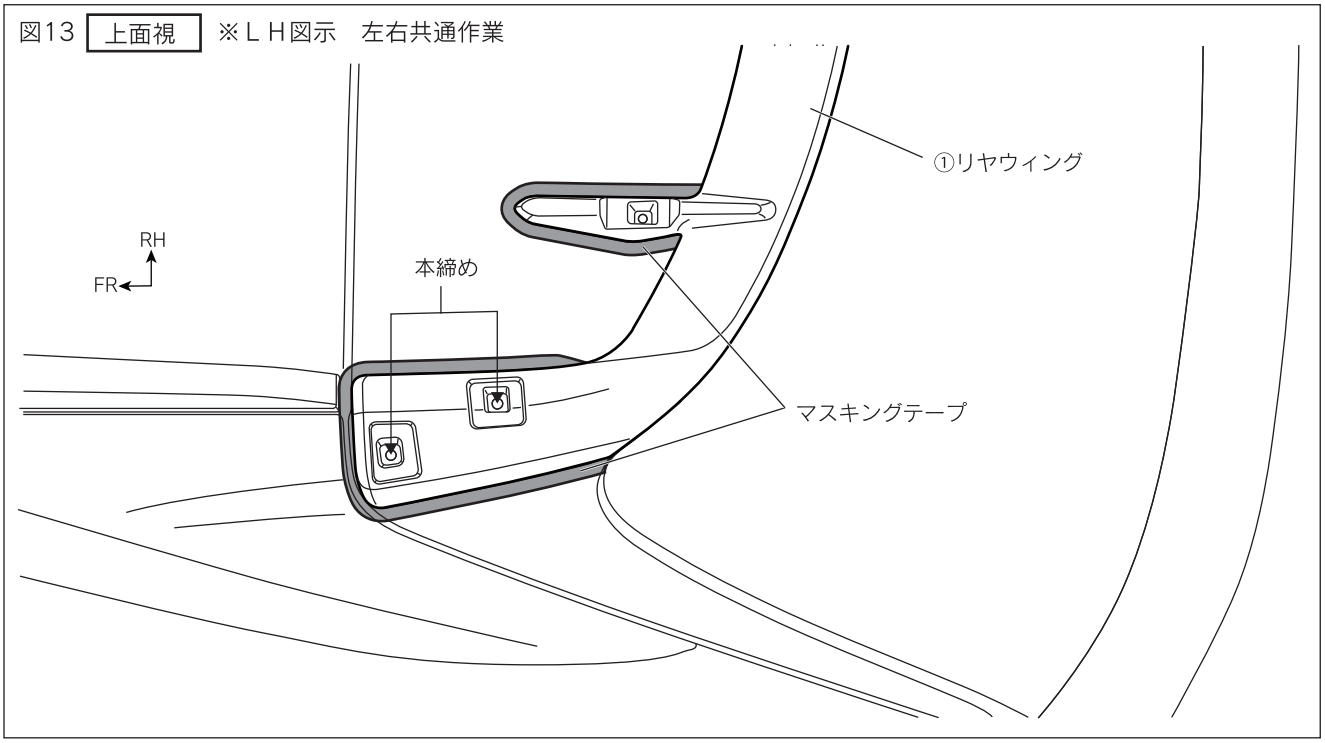
アドバイス　両面テープの接着力は安定するまで３～５時間程度必要です。
製品の取付け後は、最低３時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、掛からないようにオープンタイム（静止時間）お取りください。

⚠ 警告　両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。
両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。
接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

21. マスキングテープをすべて剥がす。（左右各２箇所）

22. 図13のように⑧タッピングスクリューを本締めする。（左右各２箇所）

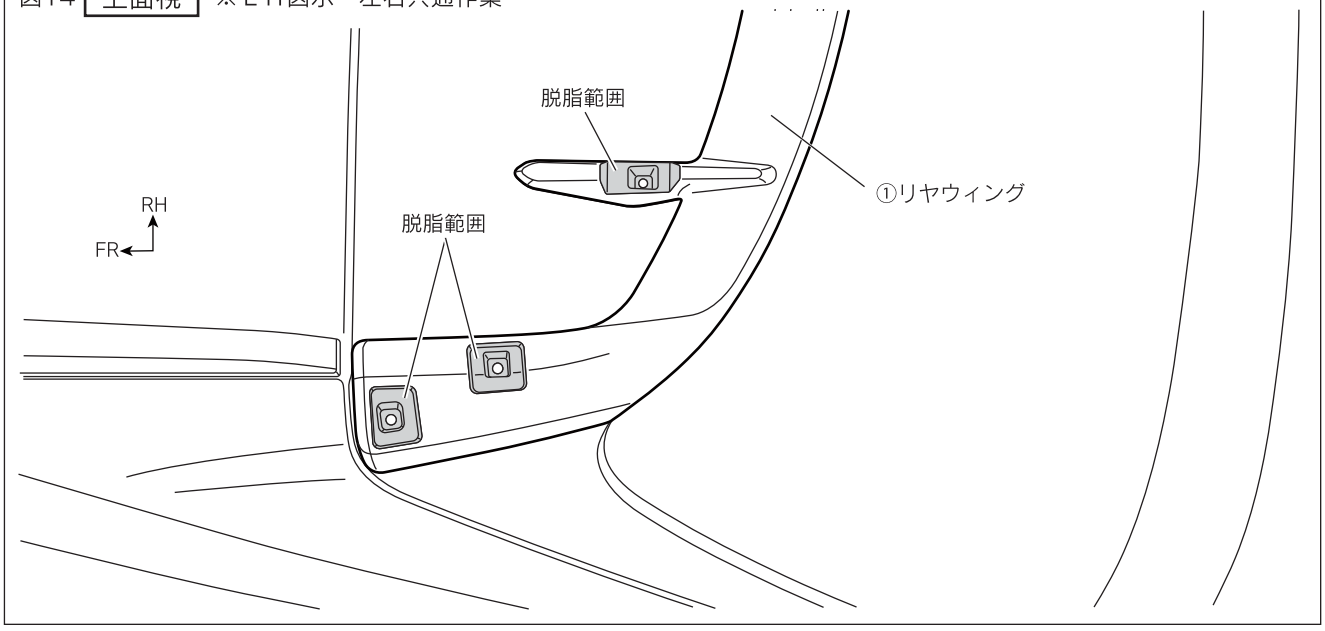
図13 上面視 ※ＬＨ図示　左右共通作業



⚠注意：マスキングテープを剥がした後、プライマーのはみ出しがあった間合いは必ずはみ出し跡をイソプロピルアルコール（ＩＰＡ）で除去してください

23. 図14のように②③④カバーＡ～Ｃの両面テープ貼り付け部の汚れを取除き、イソプロピルアルコール（ＩＰＡ）で一方方向に拭いて脱脂する。（左右各３箇所）

図14 上面視 ※ＬＨ図示　左右共通作業

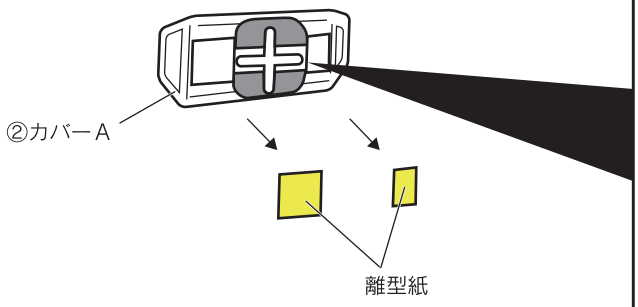


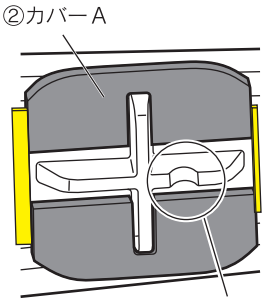
⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

アドバイス　脱脂後は、10 分程度乾燥させてください。

24. 図15のように②カバーＡの両面テープの離型紙をすべて剥がす。③④カバーＢ，Ｃの両面テープの離型紙を矢印方向に２０ｍｍ剥がしてマスキングテープ等で表側に貼り付ける。（左右各４箇所）

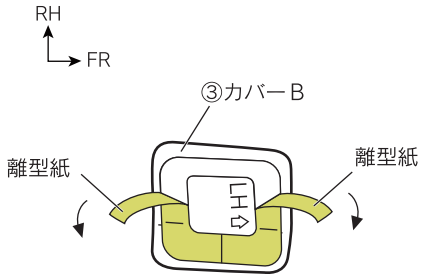
図15 上面視　※ＬＨ図示　左右共通作業





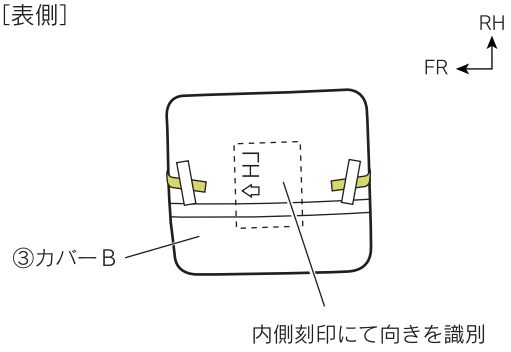
ＲＨリヤ側のみ切欠き有り

Ｒ／Ｌの識別、前後方向は切欠きにて見分ける。
※カバー取り付けの参考にして下さい。

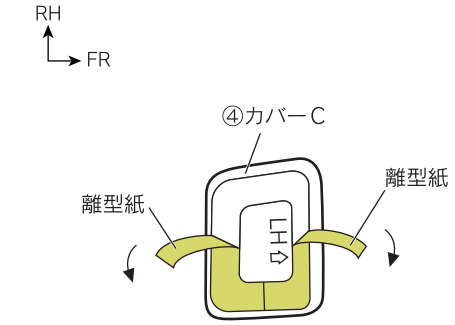


カバー取り付け時、離型紙を手前に引き抜けるように
離型紙の剥がす向きに注意して下さい。

［表側］

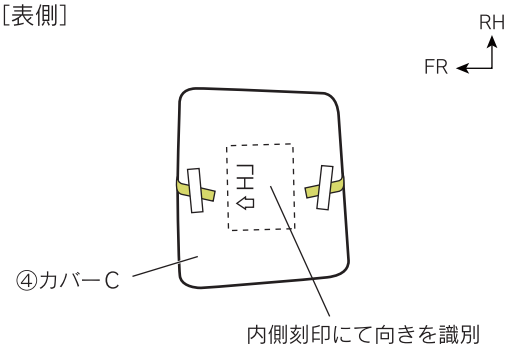


Ｒ／Ｌの識別、前後方向は内側の刻印にて見分ける。
※カバー取り付けの参考にして下さい。



カバー取り付け時、離型紙を手前に引き抜けるように
離型紙の剥がす向きに注意して下さい。

［表側］

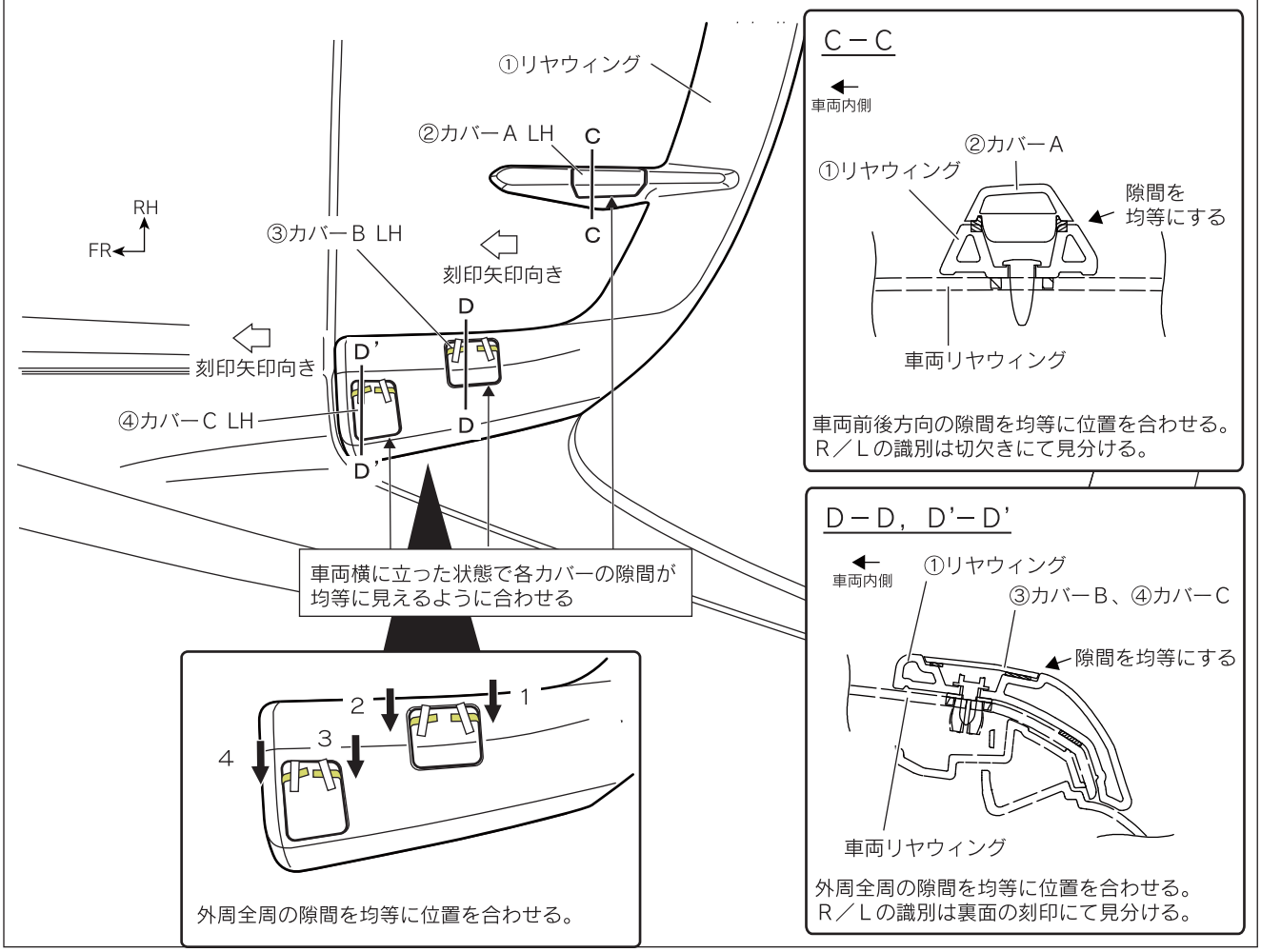


Ｒ／Ｌの識別、前後方向は内側の刻印にて見分ける。
※カバー取り付けの参考にして下さい。

25. 図16のように①リヤウィングと②カバーＡの隙間が均等になるように位置を出し、圧着をする。（左右各１箇所）

26. 図16のように①リヤウィングと③④カバーＢ，Ｃの隙間が均等になるように位置を出し、両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼り付け圧着する。（左右各２箇所）

図16 上面視　※ＬＨ図示　左右共通作業



アドバイス　各カバーの左右、取付け向きを間違えないように注意してください。
正しい位置に取付けを行わないと、剥がれる危険や、均等な隙間にならない場合があります。

アドバイス　両面テープの接着力は安定するまで３～５時間程度必要です。
製品の取付け後は、最低３時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、掛からないようにオープンタイム（静止時間）お取りください。

⚠ 警告　両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。
両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。
接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

■取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びリヤウィング廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■ 未塗装品の取り扱いについて

下記は未塗装品（MS342-48003）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行ってください。

⚠注意 :本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として、足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。

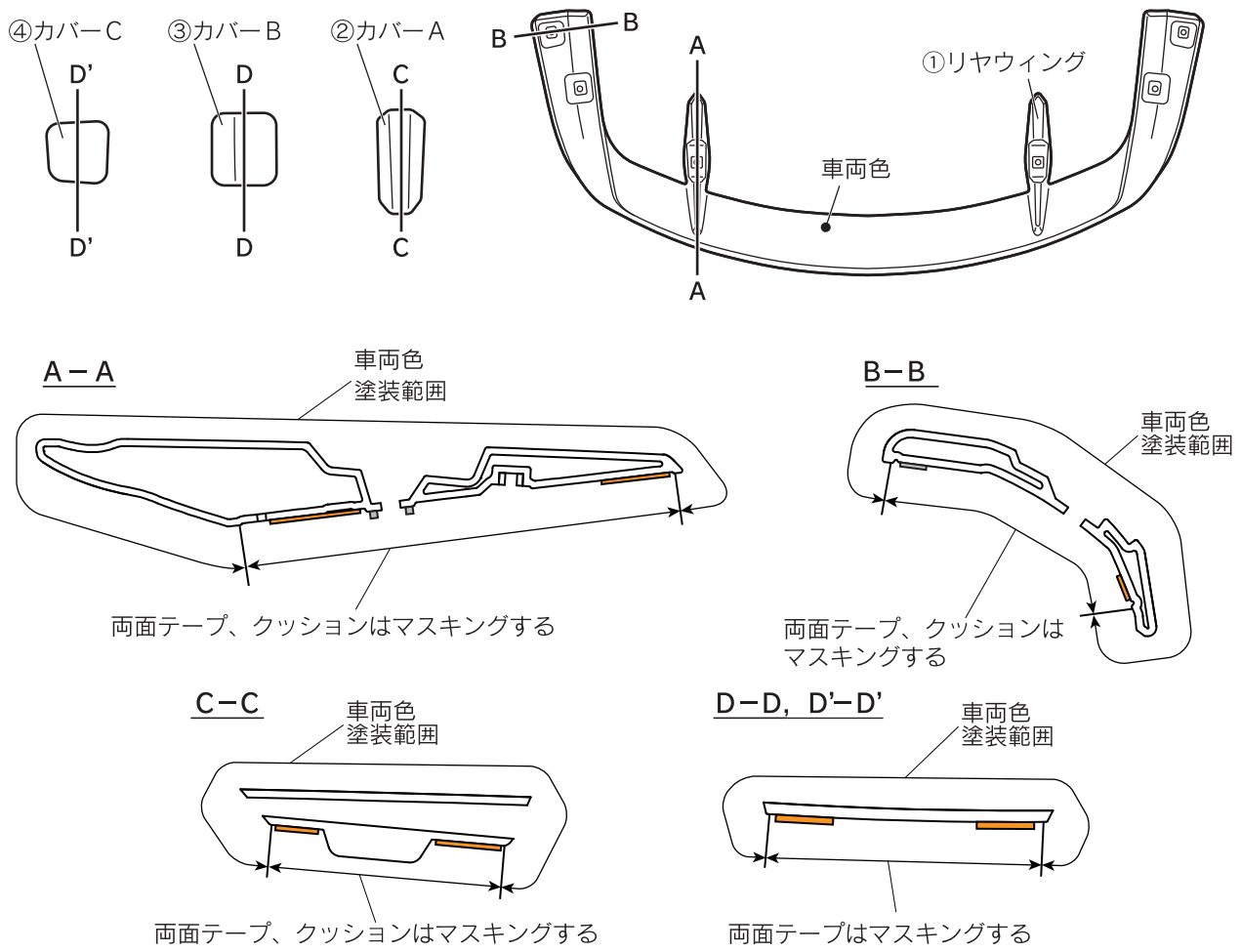
⚠注意 :プライマーは非導電性のものをご使用ください。

※本取付・取扱要領書は、主にＬＨ側を示しており、ＲＨ側も同様に行ってください。

□ リヤウィングの塗装

1．図 17のように①リヤウィング、②③④カバーＡ～Ｃを車両色で塗装する。

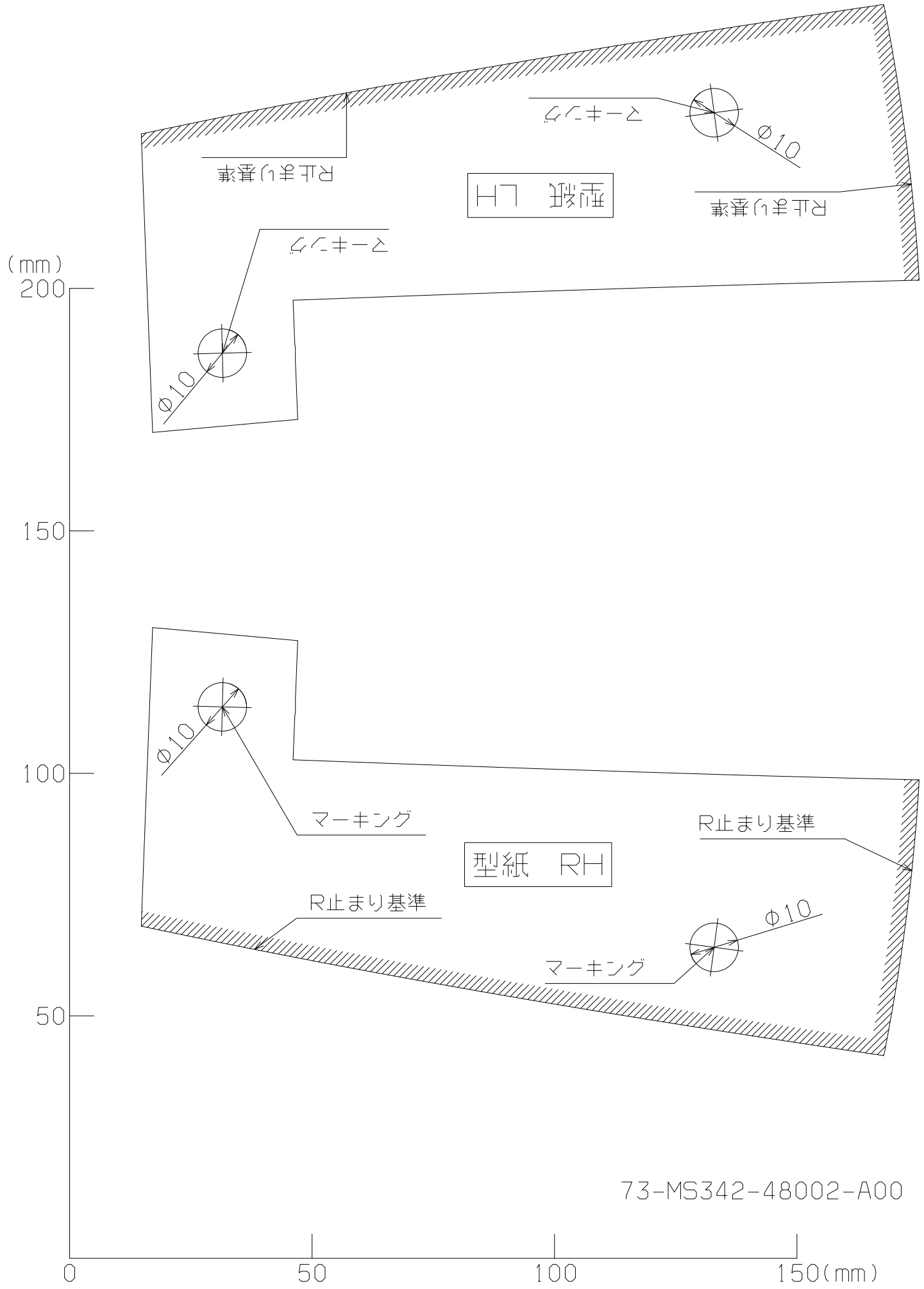
図 17　※ＬＨ図示　左右共通作業



⚠注意 :乾燥温度を 70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

⚠警告 :両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

株式会社トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
ＴＲＤ商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-2121
https://www.trdparts.jp/


(mm)
200
150
100
50
0
50
100
150(mm)
R止まり基準
マーキング
Φ10
型紙 LH
マーキング
Φ10
R止まり基準
型紙 RH
R止まり基準
マーキング
Φ10
73-MS342-48002-A00

脱脂作業要領書

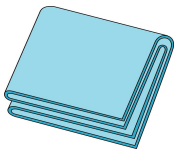
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　（約３分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約６分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約４分）
合計　約 13 分

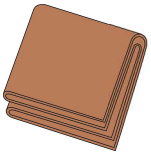
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等

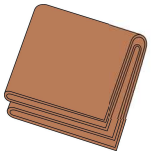
水拭き用バケツ


合成セーム皮

脱脂剤用
スプレーボトル

ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス

イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

１．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
２．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
３．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
４．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
５．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

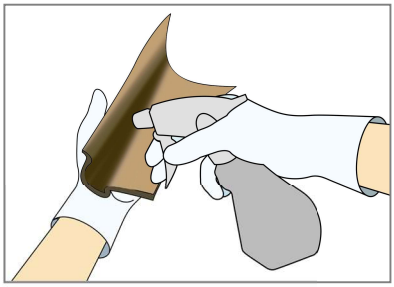
水拭き用バケツ

合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。

WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

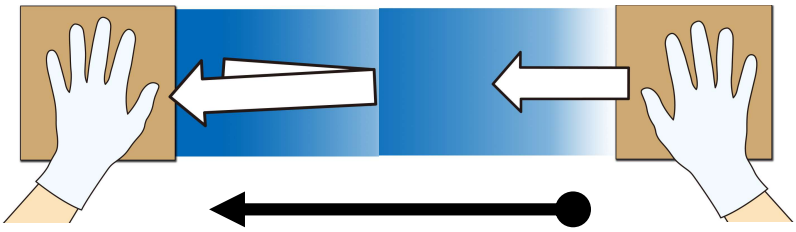


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

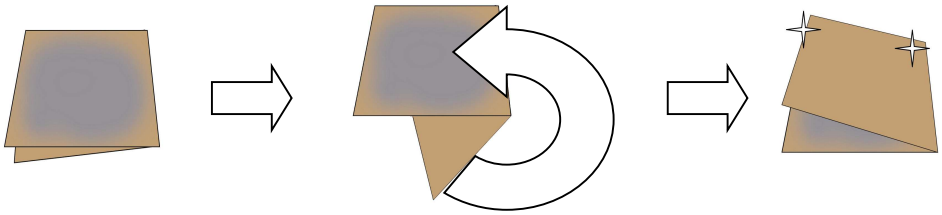
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。